

# 新しい読書のカタチ



春は何かと忙しい時期ですが、たまにはゆっくり読書をしてみませんか？ 今まで興味はあったけど、なんとなく敬遠していた本も、今回紹介する新しい読書の仕方なら気軽に読むことができますよ。(アル)

## ◆電子テキストというカタチ◆

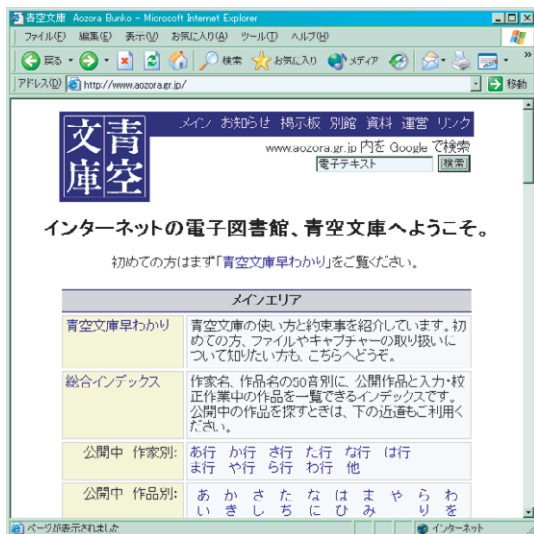
電子テキストという言葉聞いたことはないでしょうか？ これは、文章をパソコンなどの電子機器で利用できる形にしたものです。例えば、ワープロソフトで書いたレポートや、電子メールなども電子テキストの一種です。

しかし、電子テキストには他にも有用な使い道がたくさんあります。そのうちの1つが電子テキストでの読書です。今回はその方法を紹介します。

## ◆電子テキストでの読書◆

電子テキストは、保存にも場所をとりませんし、本が破れたり汚れたりという心配もありません。しかも、パソコンの前に座ったままで手に入れることができるのです。では、実際に読みたい作品の電子テキストの入手法を紹介します。

ここでは『青空文庫』(URL: <http://www.aozora.gr.jp/>) というサイト(下図)を利用してみましょう。このサイトでは、著者の没後50年以上が経過して著作権の消滅した作品や、著者が公開を許可した作品を電子テキストとして公開しています。例えば夏目漱石や森鷗外などの作品も公開されています。これらを利用すれば、パソコン上でその作品を読むことができます。しかも、全て無料で利用できるのです。



はみだし  
すてーじ

春なのに心も財布も寒い…  
⇒だ、大丈夫。きっといいことがありますよ！

## ◆青空文庫の使い方◆

『青空文庫』を利用する前に、まずは「青空文庫早わかり」というページを読んでみましょう。青空文庫の使い方と約束事が紹介されています。

作品を探すときには「総合インデックス」を利用しましょう。ここでは登録してある作品と作家が50音別に分類されています。読みたい作品が決まっているときは「作品別」、ある特定の作家の作品が読みたいときは「作家別」と使い分けるとよいでしょう。

作品を選ぶと、その作品の「図書カード」が開きます。「すぐにHTML版で読む」をクリックすれば、その作品が表示されるので、そのまま読めます。作品をダウンロードしたいときは「図書カード」の「ファイルのダウンロード」からファイルをダウンロードすることができます。

詳しいことは「青空文庫読書ガイド」や「ファイルのダウンロード方法・解凍方法」を参照してください。

「作業中の作品」に登録されている作品は、現在電子テキスト化の作業を進めているものなので、期間をおけば利用できるようになります。

もし読みたい作品が見つからなかったら、リンクの「電子テキストのある場所」を見てみましょう。他にも電子テキストを公開しているサイトはたくさんあります。他のサイトでその作品が見つかるかもしれません。ただし全てのサイトが無料で公開しているというわけではないので気をつけてください。

## ◆色々な読み方◆

「電子テキストの読み方」というページでは、電子テキストを画面上でより読みやすくするための様々なソフトウェアを紹介しています。ここで自分に合った電子テキストの楽しみ方を見つけてはどうでしょうか。

## ◆活動への参加◆

この『青空文庫』では「青空作業員」を募集しています。これはまだ電子テキスト化されていない作品を電子テキスト化するボランティアのようなものです。もし好きな作品が見つからなかったら、自分でその作品の電子テキスト化に挑戦してみたいはいかがでしょうか？

(経・2 ソウタロウ)  
(半分は自分に言い聞かせる編)